

あそびまつりだより NO.1

2018. 9. 7
頌栄幼稚園

夏期保育から少しずつあそびまつりの道具が園庭に出始め、自分達なりに考えて遊ぶ姿が見られます。しかしその姿は学年によって様々で、あそびまつりを経験した事のある年長組は戸惑うことなく、遊び始めました。最初は見ていた年中組も年長組が遊んでいる姿を見て、自分達も！と取り組み始めました。さあ、初めての年少組は・・・いつもとは違う環境に戸惑い、涙する子も。環境ひとつで学年によってこんなにも様子が違うんだと改めて感じた始まりでした。

<遊びの様子>



自分達で跳び箱を組み立てて遊び始めます。
年長・年中組は跳ぶことにチャレンジ！
「どうやって跳ぶか教えてあげる。」と年中児の傍まで行って教えてくれる年長児。こういう教え合いの姿を見られることが嬉しいです。ね。「自分達もしてもらったことを今度はしてあげる」これからどんな頼もしい姿が見られるのでしょうか。



年少組は1段がいいかなと3段の跳び箱を低くしてくれた年長組。早速年少組が跳び箱の上に乗っています。それだけでも嬉しい年少組です。



「ちょっと乗ってみたいね。」
「少し高くなった！」「ほんとだ」

片付けもみんなで頑張ります。
年長だけでなく年中組も友だちと力を合わせて運んでいますよ。そして年少組も。



これどこに置くの？



このおたよりで「あそびまつり」ができるまでの様子をお伝えしていきます。先生主導ではなく、子ども達が試行錯誤して、成功したり失敗したりしながら自分達の力で作っていきます。毎年、最後までどうなるか分からないあそびまつり。今年はどうなるあそびまつりになるのでしょうかね。



「こんな上まで上れた。」これも立派なチャレンジです。やったね！！



「重いなー。」玉入れのかごも一人では無理だけど友だちと一緒になら運べます。